

キラキラ☆ うるしワールド

金沢漆芸会・中村記念美術館主催企画展

“うるし”と聞いて、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。漆の黒塗りの質感による“つやつや”や“つるつる”、または豪華な金蒔絵からの“きらびやか”、あるいは手に取った時の“しっとり”など、さまざまなイメージがあると思います。

多彩な“うるし”の魅力の中から、このたびの展覧会では、光を反射して煌めく“キラキラ”に注目しました。塗の艶やかさ、金や卵殻、青貝などを併用した蒔絵のきらびやかさ、彫溝に金を埋めた控えめな黄金の輝き、それらはすべて固有の“キラキラ”をあらわしています。

昨秋、金沢市文化活動賞を受賞した「金沢漆芸会」所属会員の手による現代の漆の作品と、当館所蔵の明治から昭和にかけての加賀蒔絵および近代の名工たちの作品の展示です。綺羅星のような“うるし”の作品の共演をどうぞお楽しみください。

なお、本展覧会は金沢漆芸会との共催により、全面的に協力をいただいで開催いたします。



①



②



③



⑥



④



⑤

①飾池一貴 小紋蒔絵茶器(平成13年)②鶴田明子 平文「芳春」箱(平成25年)③畑宏「鶴遊ぶ」漆芸額(平成29年)④清水英姿 螺鈿蒔絵「花宇宙」八角箱(平成25年)⑤中野孝一 蒔絵箱「風船かざら」(平成28年) [以上 金沢漆芸会] ⑥大場松魚 平文芳苑の櫛(昭和54年) [以上 中村記念美術館蔵]



開館時間：9時30分～17時(受付は16時30分まで)
観覧料金：一般300円/団体(20名以上)250円/65歳以上200円/高校生以下無料

【交通】(駐車場12台有り)

- ・金沢駅東口3番バス乗場から18系統「東部車庫行」[「金沢学院大学行」]で「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢駅東口7番バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
- ・金沢ふらっとバス(菊川ルート)で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分

茶道具と工芸の美術館

金沢市立中村記念美術館

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号
TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
<https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/>

ミニ展示「春の茶道具取り合わせ」も同時開催!

春のお茶会をイメージした道具の取り合わせ展示をお楽しみください

[会期中のイベント]

出品作家によるギャラリートーク(60分)

出品作家が作品を解説します。

開催日時：3月9日(土)、30日(土) 14:00～15:00

参加費：観覧料金(一般300円) ※事前の申込は不要

学芸員によるギャラリートーク(60分)

展覧会の見どころを解説します。

開催日時：2月23日(土)、4月6日(土) 14:00～15:00

参加費：観覧料金(一般300円) ※事前の申込は不要

体験イベント「うるしの器に触れてみよう」

うるしのお膳と盃を用いて、宴席気分をちょっと味わってみませんか?

旧中村邸2階座敷にて、ノンアルコールドリンクとおつまみをお召し上がりいただけます。うるしの器の優しい口当たりをご体験ください。

会場：旧中村邸2階 ※会場は階段を上った和室です

開催日時：3月23日(土) ①13:30～②14:30～

3月24日(日) ③10:00～④11:00～⑤12:00～⑥13:00～

定員：各回8名(先着順) ※未就学児は定員に含まれません

体験時間：およそ30分

参加費：500円 ※美術館観覧料金を含みます

申込方法：2月19日(火)から先着順で受付

電話またはメールで参加希望回、人数、参加者名、連絡先(携帯電話番号、メールアドレス等)を添えて中村記念美術館まで。

<旧中村邸1階展示>うるしの道具ってどんなもの?

漆刷毛や金粉・青貝などの道具・材料や、実際に手に取れるうるしのうつわなどの展示を行います。漆芸会会員による解説や、銀粉を蒔く体験もできます。1階の展示の観覧は無料です。

開催日時：3月23日(土) 13:00～15:45(16:00閉場)

3月24日(日) 9:30～14:30(15:00閉場)